



高等研究院長及び特別主幹教授の選出について

概要

平成21年10月1日付けで設立した高等研究院において、香月 勲（かつき つとむ）前高等研究院長の任期満了に伴い、平成22年4月1日から、新しく巖佐 庸（いわさ よう）理学研究院教授が高等研究院長に就任しました。また、香月前高等研究院長が九州大学特別主幹教授に就任しました。

■背景

九州大学が世界的研究教育拠点として、学界をリードする卓越した研究成果を上げ、さらにそれらを社会に還元するため、部局を超えた全学的な組織として平成21年10月1日に高等研究院を設立しました。

高等研究院は、学内アカデミー機能として、本学の若手からシニアまでの優れた研究者の参画を得て、高等研究院長のもと2名の特別主幹教授（新海征治特別主幹教授、笹月健彦特別主幹教授）、23名の特別准教授、により構成されています。

■内容

香月 勲前高等研究院長の定年退職に伴い、巖佐理学研究院教授が総長により指名され、平成22年4月1日より新しく高等研究院長に就任しました。巖佐高等研究院長は、数理生物学を専門とし、数理的手段による生物学の研究を行っています。最近のテーマとしては、森林の動態、サンゴ礁での生物の共存と多様性、野生生物の絶滅リスク評価などがあり、Nature, PNAS, Evolutionなどの国際誌に220編もの論文を公表しています。論文の被引用数は6700にのぼり、生態学分野において世界でトップクラスの研究者です。

巖佐高等研究院長は、2代目の高等研究院長となります。

香月特別主幹教授は、平成22年3月に開催された特別主幹教授選考委員会において、特別主幹教授の称号が授与されることとなりました。香月氏は、有機化学を専門とし、1979年より81年まで米国スタンフォード大学およびマサチューセッツ工科大学で博士研究員として、後に「香月-シャーププレス酸化」とよばれることになるアリルアルコールの不斉エポキシ化に関する研究を行いました。この研究は、2001年にシャーププレス教授がノーベル化学賞を受賞した際、不斉ジヒドロキシ化、不斉アミノヒドロキシ化とあわせて、受賞対象となった研究の一つであり、香月教授の貢献は非常に大きいといえます。

特別主幹教授は、総長より委嘱され、当該教授の希望に応じて、研究室（研究・実験スペース）、ポストドク、秘書等を提供されるなどの研究活動の支援を受けます。香月特別主幹教授は、3人目の特別主幹教授となります。

■今後の展開

今後も部局等の長からの推薦に基づき、特別主幹教授の選考を行います。また学内外の優れた研究経験を有する研究者により組織する高等研究院特別顧問を置くとともに、高等研究院の運営方針を決定する高等研究院運営会議を開催し、その陣容を充実させ、学内アカデミー機能を強化していきます。

【お問い合わせ】

学術研究推進部学術研究推進課 児島 明佳

電話：092-642-2126

FAX：092-642-7090

Mail：gigkikaku@jimu.kyushu-u.ac.jp